

令和7年 6月13日(金)

あさひの日だまり

NO.9

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～ニュージーランドのワイトモから子どもたちが来校しました。～

ハカの披露

9日(月) ニュージーランドのワイトモ(市や町ではなく上伊那郡のような行政区だそうです)から8名の子どもたちを迎えました。「歓迎の式はどうしようか」とか「何か一緒にできるゲームのようなことを考えようか」という校内での話もありましたが「日本の授業を経験してもらい自分の学校との違いを実感してもらうのが一番いい経験になるのではないかな。そしてそれが一番いい文化交流になるのではないかな」と考えました。そこで先生方に「訪問してくる子どもたちに日本の通常の授業を体験させてあげたいと思います。何か特別なことはしなくてよいのでいつもと同じ授業をして下さい」とお願いしました。



当日は朝一番にまず体育館に集まって受け入れの式をしました。本校では「ふるさと」の合唱をして訪問団を迎えました。訪問団からは「ハカ」の披露がありました。私はラグビーの国際試合でニュージーランド代表オールブラックスがハカを披露するところをテレビで見たことがあります。本物を見たのは今回が初めてでした。披露してくれたのは10歳を少し超えたくらいの男の子でした。ラグビーをしているということでした。低いよく通る声で力強く演じてくれました。迫力のある演技に体育館の空気が緊張しました。思わず「すごい!」と声が出てしまいました。拍手が起こりました。現地の人が演じてくれるハカに触れられて大感激でした。

1時間目と2時間目は授業体験をしました。8名の子どもたちを2人ずつのグループに分けて4学級に配置しました。1時間目はかがきら・5年生・6年生の4クラスへ。2時間目は1年生・2年生・3年生の4クラスへ入って授業を受けました。

あるクラスは近日中に行われる体力テストの方法について実地で説明していました。またあるクラスでは国語の教科書を使って本文の意味理解をしていました。通訳の方が傍らで声をかけて下さっていましたが、内容の理解はなかなか難しかったかもしれません。しかしながら、感覚的にどんなことをしているのかはわかってくれたと思います。それがとても良いことのように思いました。

帰り際にワイトモの何人かの子どもたちに声をかけて感想を聞いてみました。「休み時間に一緒に遊んだことが楽しかった」「クラスの仲間も先生も明るくて素敵だった」と話してくれました。一人の子が「習字が楽しかった」と言って「王」を見せてくれました。朝出会った時の表情はとても硬かったのが「大丈夫かな?」と心配していたのですが、別れ際の表情はとても柔らかく笑顔でしたので「子どもたちって柔軟だな」と感心し嬉しい気持ちになりました。



～週末は踊り連がお祭りに参加します～

練習の輪の中心には着物姿の講師の方が



ような顔をして仕方なく手足を動かしている様子の子もありました。でも不思議なものです。私の経験からいうと、本番の会場に入ると踊りが苦手でイヤイヤ練習をしていた子たちも笑顔で声を出して楽しむんです。お祭りってそういうところが素敵なんだと思います。この練習でひとまず振付に自信を持っておいで欲しいと思いました。

指導のためにご来校いただいた講師の方がお二人おられました。きれいなお着物をまとって本格的な踊りを教えて下さっていました。その雰囲気にもまれて子どもたちも頑張って練習を続けていました。指導者の皆様に本当に感謝申し上げます。そして、子どもたちを当日支援して下さる保護者の皆様にも心から感謝いたします。

どうぞ天気が良くなってください。そして子どもたちが思いっきり動かして踊りを楽しんでくれることを心から願っています。

～体力テストを全校一斉に行いました～

初めての取り組みでした

今年初めての取り組みとして、昨年までは各クラスで行っていた体力テストを全校一斉で行いました。少人数グループに分けて各班ごとに測定場所を回って行いました。その班は縦割り清掃などを行う縦割り班（なかよし班）としました。私が「いいな～」と思ったのは、私はソフトボール投げを担当していたのですが、リーダーの6年生が班員の記録を一生懸命記録してくれている姿がありました。「頑張って！」とメンバーに声をかけている姿がありました。「高学年はボール拾いに広がって！」とリーダーが率先して班をまとめ、先生方の指示を一切受けない班もありました。「自律した姿」が育っている様子が見えて本当に嬉しかったです。

どの子も自分の精いっぱいを出してボールを投げていました。遠くへ飛ばせる子はすごいです。小さな体のどこにそんなエネルギーが潜んでいるのかと感心します。遠くへ飛ばせない子も自分の精いっぱいボールを投げていました。2回目の方が距離が延びると私も嬉しくなりました。

今回の取り組みの中心は体育係担当の向山先生でした。向山先生は今年初めて本校に赴任された先生です。学校の様子もわからない中で計画の立案、会場準備、当日の運営等本当に綿密に進めて下さいました。校長として自校の先生を褒めるのもどうかなと思うのですが、学校というのは保護者の皆様に、地域の皆様に、子どもたちに、そして先生方に支えていただいているということを改めて実感しました。

今回の取り組みの振り返りをきちんとし、来年度以降もこの方法ですすめたいと思っています。

保護者のみな様に感謝します

「信州辰野ほたる祭り」が開かれています。私は一昨年初めて童謡公園でホタルを観ました。圧巻の風景でした。リズムを打ってホタルが輝く様には自然の神秘を感じました。同時に縁日のすごさにも思わず舌を巻きました。延々と続く出店の数は人生経験の中で最高の数でした。そして今年もその季節がやってまいりました。

本校は今年も2つの学年の3つのクラスが連を作って「たつのピッカリ踊り」に参加します。朝の連絡黑板に「辰野ピッカリ踊りの練習」と書いてありましたので、その時間に体育館を訪ねました。3年生と4年生が合同で指導者の方を招いて練習をしていました。もうすっかり覚えてしまっただけに入った踊りっぷりを披露している子もいますし、苦虫をつぶした

なかよし班で測定中です

